

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】財産の取得について

中学校パソコン教室及び小中学校教職員用パソコン並びに小中学校電子黒板が財産として取得されます。

契約予定金額（落札率）は、中学校パソコン教室及び小中学校教職員用パソコンが、7千776万円（75・2％）、小中学校電子黒板が3千348万円（62・7％）。

委員会審査では、落札率の他に、呼びかけた業者の属性（市内か市外かなど）及び応札社数、端末の機能や、一般市場との価格差について、などの質問がありました。

上記財産が取得されたことで、小中学校の現場において、児童生徒の学習意欲を高めやすい環境が整えられ、学習理解度の向上などが期待されます。

【議案】平成29年度松浦市一般会計

補正予算 歳入（全般）

今回の補正額は8億9千168万4千円です。そのうち、前年度繰越金が

5億1千297万2千円と半数以上を占めています。

その他、西九州自動車道整備予定地に係る保健センター解体撤去費用を含めた土地売却収入として、1億8千55万4千円、県からの養殖魚赤潮被害緊急対策事業費補助金として5千948万9千円が計上されています。またこの時期は地方交付税の決定通知があり、当初予算との差引差額4千455万8千円が計上されています。



【参考】電子黒板
（導入が済んでいる志佐小学校の写真）

文教厚生委員会

【議案】平成29年度松浦市一般会計 補正予算（関係分）

西九州自動車道の整備に伴い、保健センターを解体することとなり、その解体費用として5千696万8千円が計上されました。

【議案】松浦市青島診療所事業特別 会計補正予算

歳入歳出それぞれ771万3千円が減額計上されました。これは主に常勤医師の離職に伴う委託料の減額によるものです。現在毎週火、金曜日に青洲会病院の医師が診療にあたっています。

産業経済委員会

【認定】松浦市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員会の定数が増え、農地利用最適化推進委員が新設されたことに伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例を制定するため、

本案が提出されました。

これにより、現在の農業委員定数が37人から19人になり、新設された農地利用最適化推進委員の定数が18人になります。また、この条例は平成30年4月1日から施行されます。

【議案】平成29年度松浦市一般会計 補正予算（関係分）

農林関係では、松浦市牛舎等設置事業費補助金として500万円が計上されました。これは、牛舎及び堆肥舎の新増改築を行い、増頭を図る農業者に対して補助を行うものです。

水産関係では、養殖魚の赤潮被害緊急対策事業として、代替魚の導入を支援するため、1億1千897万8千円が計上されました。

内訳は、事業費1億7千846万6千円のうち、県と市がそれぞれ3分の1（5千948万9千円）ずつ補助金を交付するものです。

また、県営漁港整備事業費負担金が475万円減額されました。これは、阿翁浦漁港、星鹿漁港に車止めを設置する事業費でしたが、事業が延期になったことによるものです。

